

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 24 日

都道府県知事
静岡県知事 殿

提出者 静岡県島田市金谷東二丁目3482番地の485
住所 有限会社 竹内工務店
氏名 代表取締役 竹内 忍
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0547-45-3422

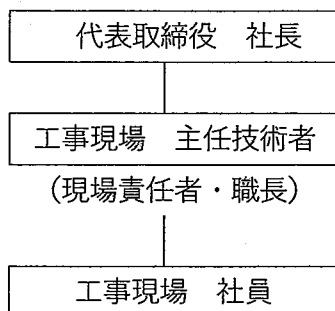
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 竹内工務店	
事業場の所在地	島田市金谷東二丁目3482-485	
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	建設業 総合工事業	
② 事業の規模	4.3億	
③ 従業員数	10人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各現場</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自社運搬 収集運搬委託</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">処理業者</div> </div>	



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙①とおり
	排 出 量	12244.5 t	t
	(これまでに実施した取組) 処分場からの指摘を受けないように分別に努めました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙①のとおり
	排 出 量	10056.18 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今回と同様の取り組みを続けられるように努める。 解体方法・手順の見直し		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業場でボックス設置や、他の廃棄物の混入をしないように分別、 処理業者へ委託している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記の取り組みを実施していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙②のとおり
	全処理委託量	12244.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	440 t	t
	再生利用業者への処理委託量	11804.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託先処理業者の現地確認の実施 ・マニフェスト確認と管理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙②のとおり
	全処理委託量	10056.18 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	440 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	9616.18 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・取り組みの継続		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄物の種類

	現状（2023年度） t	目標（2024度） t
がれき類	9390	8000
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	844	500
廃プラスチック	59	40
木くず	1578	1200
繊維くず	17	15
廃油	0.9	0.08
建設混合廃棄物	138	100
汚泥	1.1	0.8
石綿含有産業廃棄物	216	200
水銀使用製品産業廃棄物	0.5	0.3
廃アルカリ	0	0
合計	12244.5	10056.18

別紙②

① 現状 (令和5年(2023年)度)

産業廃棄物の種類	全処理量	優良認定処理業者 処理委託量 t	処理業者 処理委託量 t
がれき類	9390	69	9321
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	844	221	623
廃プラスチック	59	34	25
木くず	1578	0	1578
繊維くず	17	0	17
廃油	0.9	0	0.9
建設混合廃棄物	138	116	22
汚泥	1.1	0	1.1
石綿含有産業廃棄物	216	0	216
水銀使用製品産業廃棄物	0.5	0	0.5
廃アルカリ	0	0	0
合計	12244.5	440	11804.5

② 目標 (令和6年(2024年)度)

産業廃棄物の種類	全処理量	優良認定処理業者 処理委託量 t	処理業者 処理委託量 t
がれき類	8000	10	7990
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	500	350	150
廃プラスチック	40	0	40
木くず	1200	0	1200
繊維くず	15	0	15
廃油	0.08	0	0.08
建設混合廃棄物	100	80	20
汚泥	0.8	0	0.8
石綿含有産業廃棄物	200	0	200
水銀使用製品産業廃棄物	0.3	0	0.3
廃アルカリ	0	0	0
合計	10056.18	440	9616.18